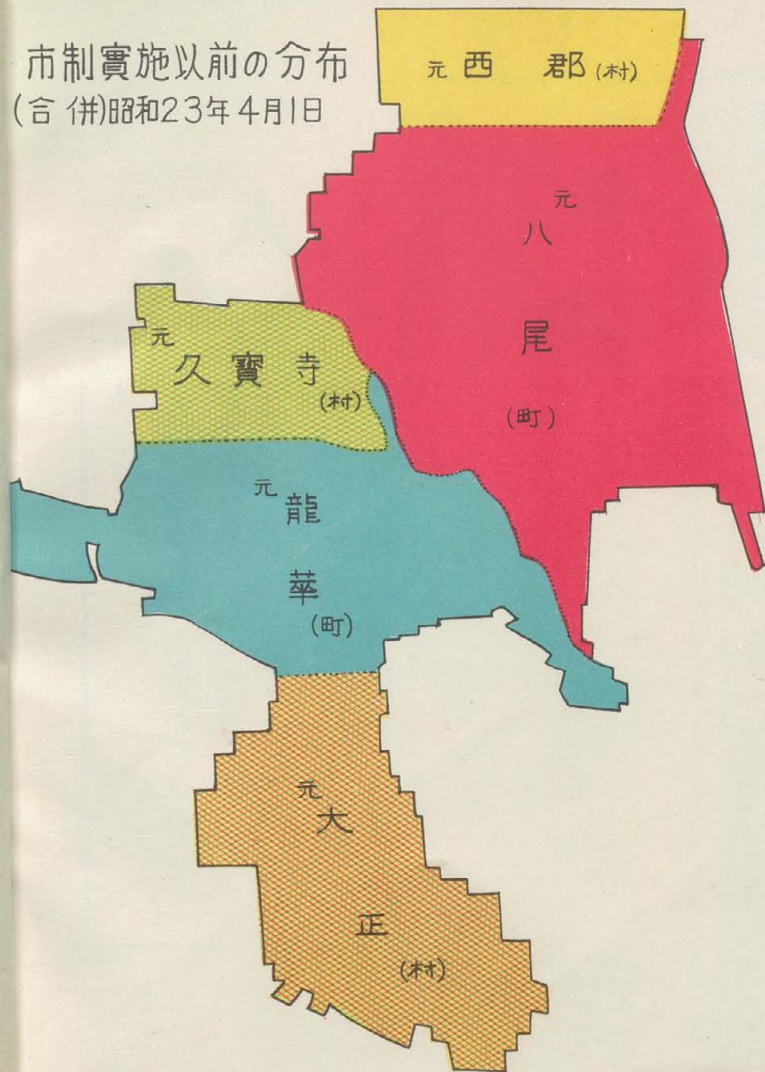


第一編 總 說

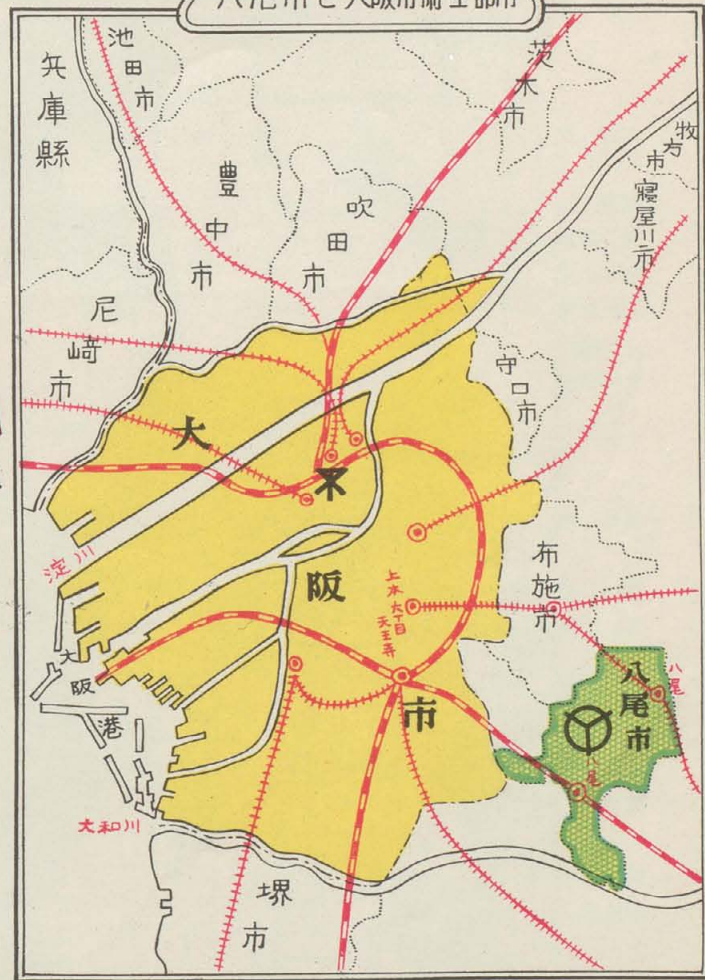
第一編 總論

市  
(言

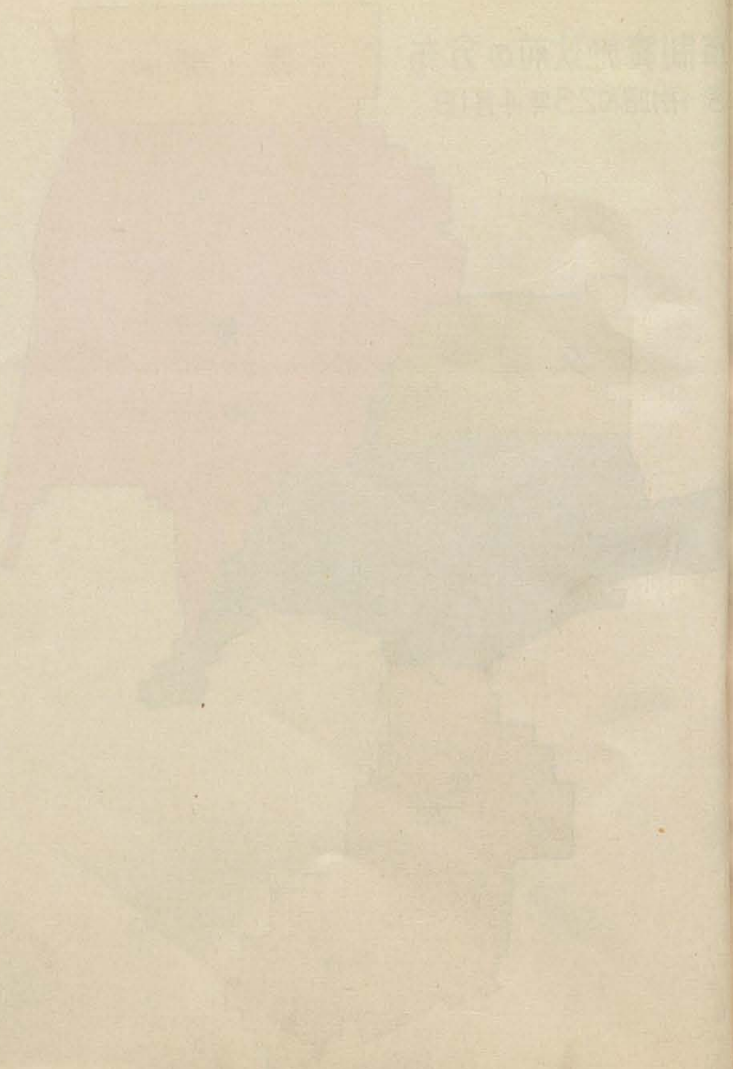
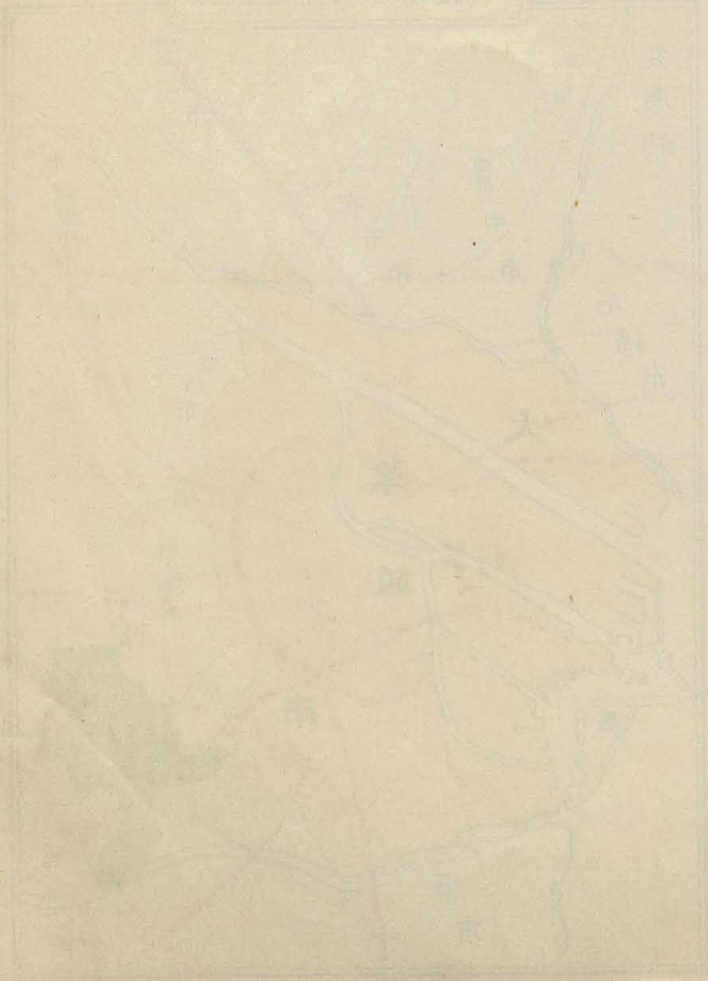
市制實施以前の分布  
(合併)昭和23年4月1日



八尾市と大阪市衛星都市



八里河



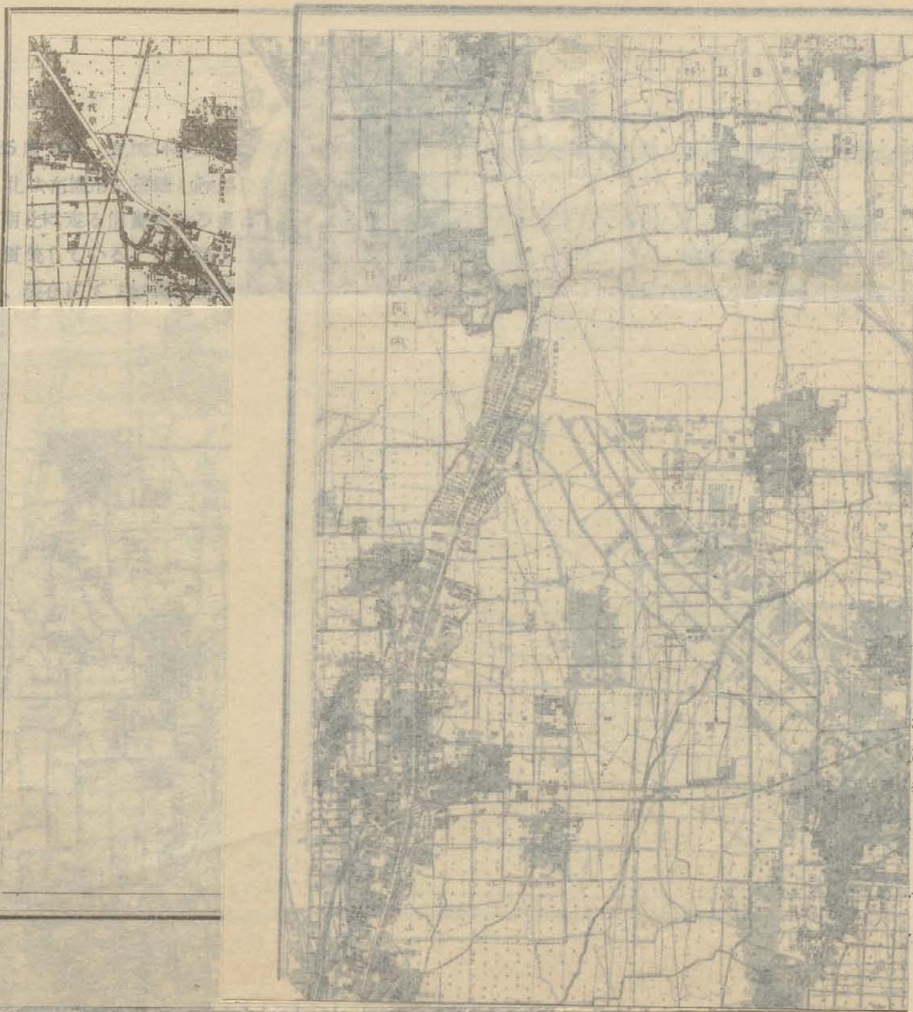
八里河

村、西は  
て、長瀬  
阪湾に放  
東より西  
北河内郡  
に通ずる  
輸路線で

消、合併  
又は知藩  
四年二月

造箭の部  
祀する。  
寺新田を  
ク村を加

一月露藩  
、町村制



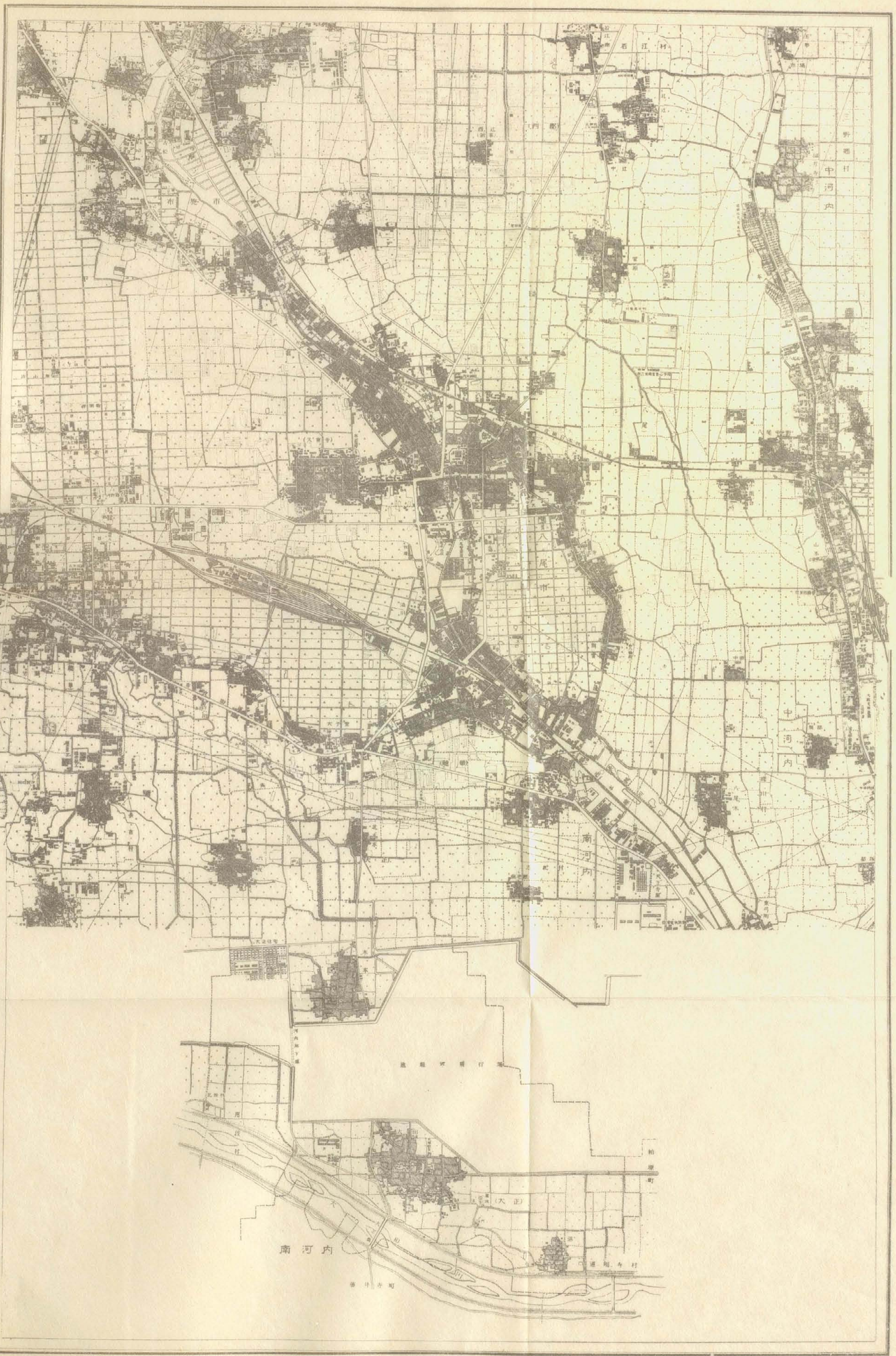
# 八尾

八尾市は、東に八尾、東経15  
大阪市の東南の住吉区に、  
東に大阪府と奈良縣の境を隔  
縮根川、川が南北に流

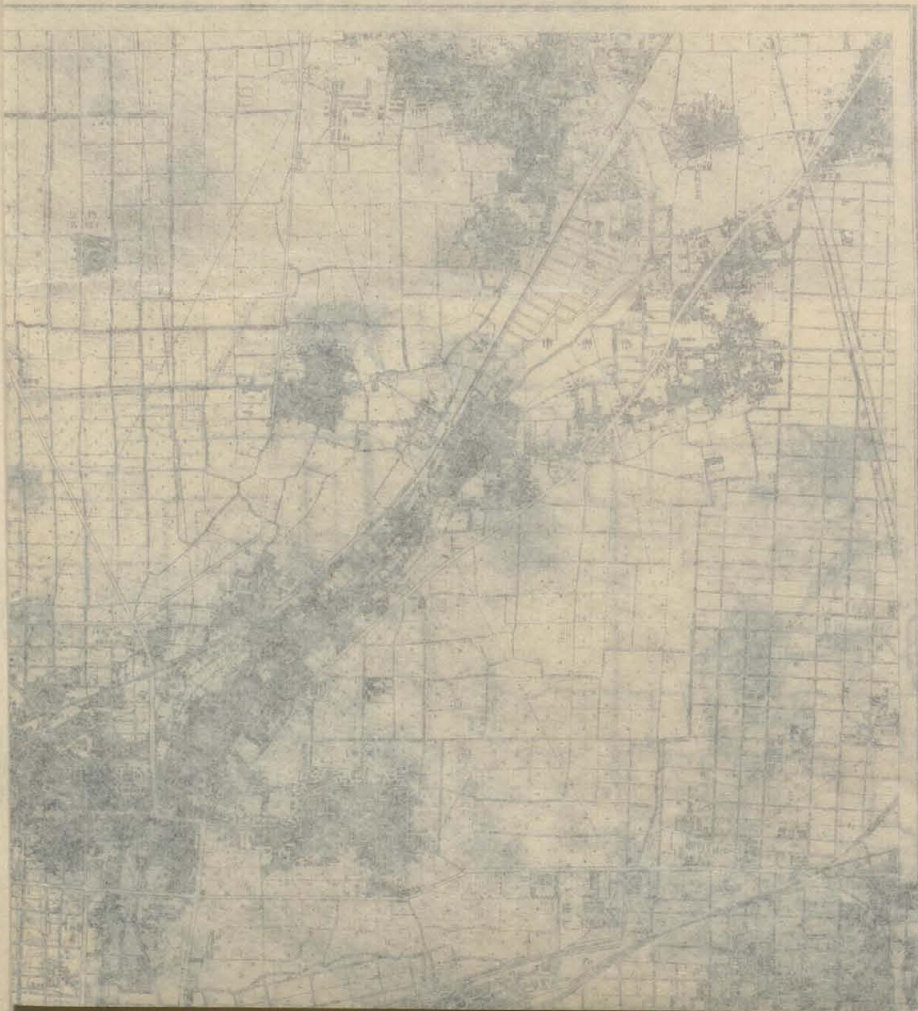
点は海拔八米、東徑一三五度三六分、北緯  
東は南高安村、高安村、南は南河内郡志  
阪市の住吉区に、北は布施市に接す  
七五籽、南北一二、四四〇籽面積は一九、  
籽

# 八尾市全圖

(二万五千分一空中寫眞測量圖)



八尾市の地点は海拔八米、東經一三五度三六分、北緯三四度三七分、東は南高安村、高安村、南は南河内郡志紀村、西は大阪市の住吉区に、北は布施市に接す  
東西八、二七五軒、南北一二、四四〇軒面積は一九、二九一八平方軒



八  
風  
市  
全  
圖

(二五五二) 空中寫真測量圖

東 三  
西 七  
南 八  
北 二  
八  
尾の市地

## 位 置 及 地 勢

八尾市は海拔8米、東経135度36分、北緯34度37分の地点に在り、東は中河内郡南高安村及同郡高安村、南は南河内郡志紀村、西は大坂市の東南端東住吉区に、北は布施市に接続し陸路交通の要衝をなしている。

東に大阪府と奈良縣の境を南北に走る信貴生駒の重峰、南は大和川を経て、二上及金剛山に囲まれ、廣莫たる河内平野にして、長瀬川、楠根川、玉串川が南北に貫流している。この河川は源を大和川に發し、往古は屢々氾濫したが、宝永二年本流を南西部大阪灣に放流するに及んで水難全く免れ、現在にては砂質、丘狀地の間に僅に流れているに過ぎない。交通には南部を、国鉄關西本線が東より西に走り、更に北部を近畿日本鉄道大阪線が又東より西に走る。又大阪市バスの乗入、近畿日本鉄道バス市内を北南に縦走し、北河内郡と南河内郡をつなく。市は東西8,275軒、南北12,440軒、其の総面積19,291平方軒である。市の西南部には大阪市より奈良市に通ずる大産業道路あり、更に南端より市中を北に貫通する幅員20米の産業道路ありて、奈良、三重の両縣より大阪市に通ずる主要運輸路線である。

## 沿 革

本市は昭和二十三年四月一日大阪府中河内郡所在の旧八尾町、旧龍華町、旧久宝寺村、旧大正村、旧西部村の五箇町村を解消、合併し、その区域を以つて市制を施行したものである。

旧八尾町……明治維新以前は、諸藩の諸領代官の支配他寺院の采地に属して居たが、其の後大阪市農局の支配下、或は河内縣又は知藩事の管轄となる等、幾多の変遷を経て、明治四年十一月堺縣の管轄に移り、同十二年八月八尾郡役所管内となり、更に同十四年二月大阪府の管轄に転じ、現在に及んだものである。

八尾は、箭尾又は矢尾などと記し、上古弓削郷の一部であつた。この地はもと河内神別矢作連の本居にして、矢作部即ち造箭の部民の住居せし地なりしが故に、今尙、矢作、弓場の地名存し、又式内矢作神社は大字別宮にありて矢作連の祖経津主命を祭祀する。又現在の西郷、木戸、東郷、庄之内、成法寺、今井、別宮、八尾座の諸村を指して古は八尾村と称し、後に寺内村及び大信寺新田を合せ明治二十二年四月一日町村制施行に及びては、以上十ヶ村の外に穴太、佐堂、萱振、小坂合、八尾中野、山本新田の六ヶ村を加えて八尾村と称し、明治三十六年八月三十一日に町制を布き、八尾町と改称した。

旧龍華町……明治維新に際し、明治元年幕府所領所司代役地及び旗本の采地は、大阪鎮台南司農局の管轄に属したが、同二年一月薩藩置縣に際して河内縣に転じ、同年八月堺縣に移り、同十三年五月八尾郡役所管下となり、同十四年二月大阪府に併合せられ、町村制



の施行に当り、植松村、澁川村、安中村、太子堂村、竹淵村の六ヶ村を合併し其の区域をもつて一村を設け、その地には龍華寺の址があり、旧橋荘であつて、荘名は又龍華から出ているので、之れを採つて龍華村と名付け、各村は其大字となり明治二十九年四月中河内郡に属し、其後村勢の発展により昭和二年六月一日龍華町と改称した。

旧久宝寺村……上古「許麻」の荘と称し、徳川時代は幕府代官の支配であつたが、廃藩置縣に際し河内縣の所管となり、同二年堺縣に移り、同十四年大阪府に併合せられ、丹比郡外五郡設置に当り、澁川郡に属したが、明治二十二年四月一日町村制施行に依つて久宝寺村、顯証寺新田、三津村新田の三ヶ村を合し久宝寺村となすけられ、明治二十九年四月中河内郡の所管となつた。

旧大正村……明治二十二年四月一日町村制施行せらるるや、同年一月新に村区域を編成し、木ノ本、南木ノ本、北木ノ本の三部落を合して三木本村と称し、南河内郡に属せしが明治二十九年四月一日中河内郡に編入せらる、大正二年五月一日南河内郡太田及沼を合して大正村と改称した。

旧西郡村……明治十七年旧若江郡西郡村、若江北村、若江南村、玉井新田の四村連合し、其後明治二十二年町制の実施に際し、玉井新田と若江村とを分離し、中河内郡西郡村と称した。

斯くして、大阪市の発展に伴い、其の隣接衛星都市として、且陸路交通の便なる吾が入尾市は戸口の著しく増加を來し、中にも近畿日本鉄道入尾駅、久宝寺口駅、山本駅、高安駅の各沿線及び、大正地区、萱振地区、中野地区等各地区に於ける府營住宅地、国鉄入尾駅附近等の急激なる発展躍進をみ、其の施設の完備と産業の興隆と共に其の面目を一新して名実共に大商工都市を形成しつつある。

幸にして戦災をまぬがれた本市としては、將來への飛躍の基盤としては、東方の山麓農村を併呑して、以て観光と衛生諸施設を行い大阪府下に於ける一大健康地の計画を樹立し産業の繁榮と結んで、文化都市としての一大躍進をせんとするものである。

### 合併當時の戸数及び面積

種 別	旧 入 尾 町	旧 龍 華 町	旧 久 宝 寺 村	旧 大 正 村	旧 西 郡 村	合 計
戸 数	5,460戸	4,447戸	2,405戸	1,368戸	860戸	14,540戸
面 積	817方里	916方里	347方里	357方里	9方里	2476方里
東 西	25町	1里10町	15町	19町	17町	3里14町
南 北	36町	20町	10町	24町	7町	2里25町

第第

二三

編編

土人

地口

址  
中

に  
宝

し  
て

新

日  
駅

い

計

戸

里

町

町